

教科	地歴・公民科	科目名	歴史総合	単位数	2
学科	全学科	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	新歴史総合(第一学習社)				
副教材など					

1. 科目の目的

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

2. 授業の内容と進め方

個々の授業においては教科書を使用しながらの講義形式を中心とするが、図表やICT機器も用いながら視覚的に理解できるよう進めていく。また、課題追求学習やディベートなども取り入れた学習も行う。現代とのつながりを考えてもらうため、興味・関心のある出来事とそれについての意見を発表してもらうことがある。そのため日々の世界情勢に興味・関心を持ち、総合的な観点から理解するとともに自分の意見を持つことが必要となる。

3. 学習する上での留意点

科目の目的を達成するために、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉える力を養うことが大切である。また、自分だったらこの出来事に対してこう考える、という自分の意見をはっきり言える様になってほしい。そのためにはいろいろな人と事象の意味や意義、特色などに着目して、意見を交換するといったコミュニケーション能力を身に付けることを意識することが大切である。

4. 課題等について

- 1) 考査前には対策プリントを配布し、考査後には訂正ノートを作成させることで、知識の定着を図る。
- 2) 各単元において時折、内容理解度のチェックを行う。
- 3) 課題追究学習については、レポートや報告書の作成、ディベートを実施する。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

6. 評価の方法

評価については、定期考査での成績、課題プリントや訂正ノートの提出状況や授業態度を総合的に判断する。

- 1) 定期考査(年5回実施)の結果をもとに、学習内容の理解度、定着度
- 2) 学習意欲や学習態度など授業への取り組みを評価する。
- 3) 課題プリントや訂正ノートなど提出物の内容および提出状況を評価

《指導計画》 科目名 歴史総合

3 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	◎近代化と私たち ○ 18世紀のアジアの繁栄 1. 18世紀の東アジアの政治と国際秩序 2. 18世紀の東アジアの経済と社会	18世紀のアジアや日本における生産と流通, アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に, 18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	行動観察 課題提出
	5	○ 工業化の進展と国民国家の建設 1. 国際商業の展開と産業革命 2. アメリカ独立革命とフランス革命 3. ウィーン体制・パクス＝ブリタニカ 4. 後発国による「上からの近代化」	産業革命と交通・通信手段の革新, 中国の開港と日本の開国などを基に, 工業化と世界市場の形成を理解する。	行動観察 課題提出 中間考査
	6	5. アメリカの膨張とアジア・太平洋政策 ○ 結びつく世界と日本の開国 1. オスマン帝国の衰退と西アジア 2. 東アジアの情勢と改革	18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向, 日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に, 立憲体制と国民国家の形成を理解する。	行動観察 課題提出
	7	3. 明治初期の日本の外交	列強の進出と植民地の形成, 日清・日露戦争などを基に, 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	期末考査
	9	○ 帝国主義とアジア諸国の変容 1. 帝国主義諸国の世界分割 2. 日清戦争・日露戦争 3. 産業の発達と社会・労働運動の高まり	帝国主義政策の背景, 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して, 主題を設定し, アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 帝国主義政策の特徴, 列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し, 表現する。	行動観察 課題提出
	10	◎国際秩序の変化や大衆化と私たち ○ 第一次世界大戦と大衆社会 1. 第一次世界大戦 2. ロシア革命とソ連の成立 3. アジアの民族運動	第一次世界大戦の展開, 日本やアジアの経済成長, ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭, ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に, 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。	中間考査
	11	○ 経済危機と第二次世界大戦 1. 世界恐慌と各国の対応 2. ファシズム 3. 第二次世界大戦	第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して, 主題を設定し, 日本とその他の国や地域の動向を比較したり, 相互に関連付けたりするなどして, 第二次世界大戦の性格と惨禍, 第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活, 日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現する。	行動観察 課題提出
12	○第二次世界大戦後の世界と日本 1. 国際連合の成立と冷戦 2. 戦後の東アジア		期末考査	
三 学 期	1	◎グローバル化と私たち ○冷戦と植民地化・第三世界の台頭 1. アジア諸国の独立と第三世界の台頭 2. キューバ危機と各国の動き 3. ベトナム戦争と文化大革命	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国, 冷戦下の地域紛争, 先進国の政治の動向, 軍備拡張や核兵器の管理などを基に, 国際政治の変容を理解する。	行動観察 課題提出
	2	○世界秩序の変容と日本 1. 石油危機とアジアの変容 2. 冷戦終結とソ連の解体 3. グローバル化の進展と格差の拡大 4. 1990年代以降の国民生活	西ヨーロッパや東南アジアの地域連携, 計画経済とその波及, 日本の高度経済成長などを基に, 世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する	行動観察 課題提出
	3		冷戦の終結, 民主化の進展, 地域統合の拡大と変容, 地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に, 冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	期末考査